



Red Degeneration

-DAY/4-

成年向
FOR ADULT ONLY



Red Degeneration

-DAY/4-

——今までのあらすじ——

間桐桜の元へと乗り込んだ遠坂凜。しかし、聖杯の力を手にした桜にかなうはずもなく、囚われの身となってしまったのだった。そこで凜を待っていたのは桜の淫湿な復讐の数々。思念によって作り出された異形の触手と共に奥の奥まで犯され、拳げ句の果てに腹が張り裂けんばかりの産卵をされてしまう。

姉に愛情を持ち続ける桜にとってその媚態は何よりもエロティックであった。泣き喚きながら、愛液を垂れ流してイきまくる凜をおかずに自慰にふける桜。お互いがお互いを高め合い、二人同時に絶頂を迎える。

凜の浅ましいイキ姿を目にした桜は凜を罰するかのよう、呪いをかけた。絶頂したくても絶頂出来ないという呪いである。そんな彼女に見せつけるように、黒セイバーと激しくまぐわう桜。二人の媚態が凜の肉体を際限なく昂ぶらせていくが呪いの影響で絶対にイく事は出来ない。凜の理性が限界に達したとき桜は取引を持ちかけてきた。彼女のいやらしい割れ目にキスすればイかせてやると……。一瞬は誘惑に屈しかけたが、桜の何気ない一言で瞬間脳裏によぎる士郎の姿。最後の約束を守り、取引を拒否した凜。業を煮やした桜は呪いをかけたまま、セイバーに彼女を犯すことを命じた……。

らぢぢ…もじ

これ以上賣めないで…

これ以上賣められたら
私…っ…

…か

んっ…

さか…

遠坂っ!!



はあ？

あ…あれ？
……は？



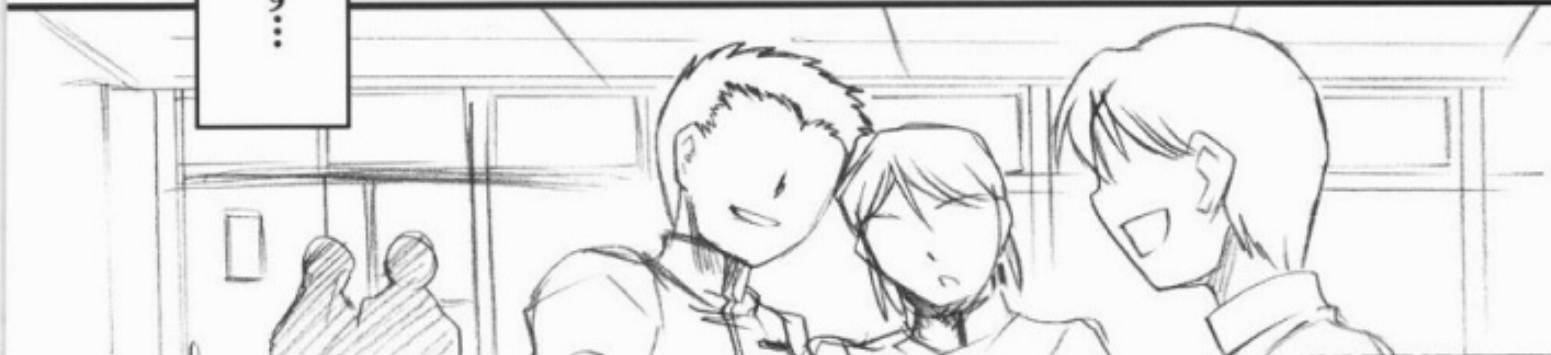
何寝ぼけてんの
お前。

学校に決まってる
だろう



そんなはず…

う…うぎっ



夢だったの？

全部？
聖杯戦争も？

…そんな…

……
つて

ホント話聞いて
無いのな。

え？

つてか、お前最近
どうしたんだよ。

さっきもうなされてたし

悪夢でも見てたんじゃないのか？

あれが…夢？
——違う
あれは確かに…

でも…女へ、
思い出せない…



話を聞けって
の!!



アッ!!

アッ!!

いや、ホント本気で
衛宮も間桐もお前のこと
心配してたぞ

最近顔見てないって
言ってたし。



お前も留字のことで
忙しいんだろうけど

たまにはあいつ等の
所にも顔出してやれよ



はあ?

そ...それってどういう事!!
二人とも無事なの?
衛宮君も? 桜も?



あいつらはお前より
ビシビシしてるよ

間桐なんか今朝も
朝練してたし。

カッ



そうよね、全部
夢よね

悪夢にしたって
ひびく夢——

ごめんごめん。
もう大丈夫だから。



あああああ

はあっ!?

クッ
クッ
クッ

あ

ハッ
ハッ
ハッ

もう、突いちゃ
だめえええええ

だめっ♡
だめなのっ

ハッ
ハッ
ハッ

も…もつ動かさなくて
ほんとにもう私…
壊れちゃいそつなのお

それならそれで
構わんさ。むしろ
そのつもりだしな

そ、そんなつ…

あつ♡

あはっ♡

ああつ♡

はあああつ♡

おつ、おんじに届いて♡
届いちゃってさうう♡
子宮潰れちゃってさうう♡♡

私のモノを全て
受け入れるとはな

なかなか
やるではないか？

褒めた、存分に
受け止めるがよい!!

あつ!?

やあつお願いそんなに
出さないでええつ♡♡

はぁっ！

くっ♡よく搾り取って
くっではないか潔

雑種のくせに
なかなかの器量だな

はぁっ♡

はぁっ♡
はぁっ♡
はぁっ♡

はぁっ♡
はぁっ♡

全く壊してしまうには
少々もったいないが、
これもマスターの命だ

せめて命果てるまで
絶頂の繰り返しを
味わい続けるがいい

あっ♡
やっ♡

はぁっ♡
はぁっ♡
はぁっ♡

はぁっ♡
はぁっ♡
はぁっ♡



イケないいいいいっ♡

SSSSSSN.....

いやあああつ...まつつまた
イクのっ、イツ.....いいっ♡

いきたくても
イケぬとは
哀れなことだな

どうどう声すら
出せなくなったか

いつ...いきたいっ
いきたいのよおおつ





いつまでむさぼって
いるつもりだ淫売女

あっ♡♡

そう言えばまだこちらは
味わっていなかったな

せっかくだ、こちらも
味見といこうか



きゅんて……!!



ふふ、サーモンピンク
の粘膜がなかなか
美味そうではないか

タレまで絡まっているとは
用意の良いことだな



あつ!? だ…
だめよそっちは



はあっ!?

やっ…

ふん、嫌がる割には
あっさりくわえこんだな

だ…だめ…?



あっ♡

はあっ♡

こっちもザーメン溜けに
してもらいたいのか?

ではお望み通り
可愛がってやろう!



んっ♡

ん♡

お戻っ♡♡熱いっ!♡

あっ♡

あ♡

んっ…あはあ…





だめえっ！

はぁっ♡

あ♡

クル

びっ♡

んっ♡

はっ♡

んっ♡

はっ♡

んっ♡



あ…あたま

真っ白になる…

あっ♡

あ♡

あっ♡

セーイキで一林に…なるっ…

アホ

んっ♡

んあっ♡

んっ♡

んっ♡



や、やっ...
終わったの...? 終わって...

ああ♡

だ...だめ...私まだ

おさまっていない—

はあっ

はあああっ♡

あっ♡



終わったと思っただか？私はまだ満足しておらぬぞ

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あはっ

あ——っ♡

はあはあはあはあ♡

だめえっ

だめええっ♡

あっ♡

やああっ♡

やっやすまっ

もう、やすませっ

あはあっ♡

やすませっ♡

あっ♡

はあっ♡

あはあっ♡

イ…イキたいのっ♡

イって…楽にい

いいぞっ
いいぞっ

楽になりたいのおっ

あっ♡

あっ♡

あっ♡

もう…イキたいの

よおおおおおっ♡

全然緩まないのでは
ないか？

こ…これ以上
されたり狂っちゃう

狂っちゃうからああ
はあああああっ♡

ひあっ♡

あっ

あっ♡

まだ足りないのか？
淫乱メス豚魔術師め

も…もっ…っ！

も…もっ
やめっ…



もうっ...
イカせてええ
えええええっ!!

やあぁ


たっ、助けて

誰にもいいのっ


くくく...
くくく...

この疼きを
止めてえええっ!!

やあぁ




随分、大変そう
ですね、姉さん♪



ん…ふう…


んんんっ♡



はああ…、しゃ…
…じゃ…うあ…

あらあら？
どうしたんです

ろれつが回って
ませんよ、姉さん



私に何か言いたい事でも
あるんですか？

姉さん♪

もう…もう
耐えられない…

ごめん土郎…
私…もう限界—

も…もう限界なの…
お願い…

ようやく素直に
なりましたね、
姉さん

最初からそう言っ
てくれていれば
良かったのに

許して…栞あ…

ごほうびに今度はちゃんと
イかせてあげますよ

わ…私が…悪かった
です…から…

んっ…♡

んっ…♡

オオオオオ



ただし、お相手は
セイバーじゃ
ありませんけどね



いやっ……

いやっ……!!





ふふっ、随分と気に入られたようですね。

大丈夫ですよ、その仔なら姉さんの体全部を可愛がってくれますよ！



い、いやああつ！
わ、わきつ！
お、おへそっ！を
そんな、い、弄りかた
しないでええつ！



なっなんで!?

目!?目って!?

はあっ

ああっ♡

♡やあやあ♡

なんなのよあつ!?
なんで私こんなに

感じてるの!!

はあっ♡目も♡舌も

脳膜まで!!

凄いですね、
姉さん。こんなに
感じられるなんて。

ほんと、うらやましい
くらいや

かつ...からだのすみずみ
までまさぐられてえっ
あつ♡アタシこんな
感じてえええええっ♡

あひっ♡

♡はあ♡

♡はあ♡

♡はあ♡

やつ...やあつ♡
今...今、解かれ
たらあああつ!?

やめっ——

きっと体中で
イケますよ♡



今イッたっ!

イッたっはあっ

イッて...

イッー♡♡

あ♡

あ♡

そ…そんなあ…嘘ッ
足の指なんか…でえう

はあああ♡

あ♡

指の先から頭までっへん
まで全部イカされる♡

う…うなしい♡
ひいひい♡

今♡今♡今♡のっ、
すっこのきた♡
きちゃったあ♡

とっまてーのっ、
とっまてーイカされるのっ、

あ♡

私♡♡イ♡
イ♡ち♡や♡い♡
い♡♡

あああ♡

ああ♡♡たすけ
てへえ♡♡ああ♡

た…助けて土郎っ

もっイカさないでっ
じゃないとお…

じゃないと、
あたし♡♡ああ
アタシ♡♡
がああ♡



消え……
♡
♡

……つごめん……
……土郎……

私……もう……

戻れぬに……ない……



大事なことを忘れ

今、なにか……

今……



はっ!



ああ、ごめん



遠坂——？
何してるの
先いくよ——っ

え？



お前な、ホント
しつかりしろよ……

あははははは



はあはあはあ♡

あは♡

は♡

あ♡

あ♡



あ♡

あ♡

ホタ...



あはあ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

完全に壊れたようだな

そうね、表面的には壊れたよね。でも、まだよ。

姉さんは逃げただけこの世ではない夢の世界へね



あ♡

「これ以上でいいわもりだ？」
「かわりありません。」
「おかしな人」

あん♡

何してるのセイバー。私はまだ、姉さんの全てを奪ってはいないわ



あ♡

きもち♡


あ♡




全て？




ええ、そうよ




例え夢の中だろうと
許せないの




あの人が笑顔でいられる
場所の全てがね



それが心の中に
あるのなら



その内側まで
壊すだけ――



最後の一片まで
打ち砕いてあげますよ、
姉さん。

～あとがき～

梶さんはどこまでいくのん？

どこまでもな～。ノシ

えー、どもですー。B-RIVERです～。
すいません、もう今回は、めちゃギリギリなので
(とても時間いえないくらい;)
がるーく、謝辞だけ述べさせてもらって
終了ですー。

まずは、「無望菜志」先生と、全く面識無いにも関わらず
無望せんせーに呼び出されて手伝っていただいた
「鈴木狂太郎」先生に物凄い感謝をー !! orz
それと、いつも付き合ってくれてる高橋の旦那にも
感謝をwww

ほんとはこの4冊目くらいで終わらせるつもりだった
このシリーズなんですが、もうちょい続いてしまう事にな
ってしまいました; さて、次はどうなるやら;

では、ホントに時間無いので、
今回はこの辺で～。

奥付

「Red Degeneration -DAY/4-」

発行 / H・B

印刷 / サンライズパブリケーション (株)

hb_river@yahoo.co.jp

HP>> <http://www.palette-e.com/>

初版 2008・12・30

本作品の無断転載厳禁、及び
未成年者の購読・閲覧を禁じます。

H-B